

激震走る! 書店員熱狂!

行く末は破滅だとわかっていても、富と名声のために闇の中を生き抜いた男たちを誰が否定できるだろうか。

——中村江梨花(未来屋書店新浦安店)

本気で打ちのめされました。これはすごい…。堂々と勝負できる充実の一冊に間違いない!

——内田剛(ブックジャーナリスト)

魔都上海を、主人公の次郎とともに困窮から抜け出して成りあがるために、もがき、あがきながらラストまで突っ走りました。むさぼるように読んでしまった……。

——成川真(BOOKPORT)

数々の渦巻く陰謀と激しい闘いに圧倒された。登場人物それぞれの熱情がすごい!面白い!!

——工藤雅子(東京旭屋書店 新越谷店)

まるで映画の中にいるような濃厚な時間だった。

——山田恵理子(うさぎや矢板店)

阿片という魔力、もうひとつに戦争。すごすぎる、読み応えのある傑作に翻弄された。

——山中真理(ジュンク堂書店滋賀草津店)

一寸先は光か闇か。理性と本能のブレーキが壊れ、暴走していく人間の心理描写は圧巻!最高でした!!

——宗岡敦子(紀伊國屋書店福岡本店)

直木賞候補作『破滅の王』の著者が放つ圧巻の歴史エンターテインメント小説!



1934年上海。極上の阿片を武器に「魔都」を駆け上がる日本人の男